

《プロジェクト名 高育種牛群への改良による耕畜連携ブランド和牛の創出プロジェクト》

市町村	真室川町	対象地域	真室川町	分野	畜産
実施主体名	真室川町肉用牛振興協 議会	代表者氏名	会長 三宅 信也	住所又は主たる事務 所の所在地・連絡先	真室川町新町1302 62-2878
実施主体構成	46名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	198,300千円（109,374千円）					
	独自の目標項目	高い産肉能力と繁殖生産性を兼ねそろえた育種基礎牝牛群を整備し、次世代の肉用牛生産を見据えた自給飼料への高い適応性を持った和牛改良に取り組む。					
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）	
	産出額	88,926千円	120,000千円	134,500千円	149,000千円	167,000千円	198,300千円
	独自の 目標項目	子牛販売232頭	300頭	300頭	329頭	368頭	438頭
プロジェクト 概要	◎実施方針	産肉能力と繁殖生産性の高い牛群を整備し、会員農家へ貸し付ける。					
	○産出額の増大	109,374千円					
	○雇用の創出	自給飼料生産を行うため作業員として120人/日（1班×4人×30日）の雇用を図る。					
	○創意工夫	とうもろこしWCS、GS、イネWCS、SGSの地産地消飼料の有効活用と牛群改良による生産性の向上の相乗効果を図る。					
	○実現性	真室川町では、水田を活用した飼料生産量が近年大幅に拡大している背景を踏まえ、牛群の改良を組織的に進めることで実現可能である。					
	○地域への波及 効果	地元産自給飼料を利用し、経営コストの圧縮はもちろん耕種農家における農業所得の増。さらには、耕畜連携による価値ある農畜産物の生産、販売へと波及効果が期待出来る。					
	○その他						

		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成23年度）
	事業内容	育種基礎牝牛群の導入（30頭）	育種基礎牝牛群の導入（30頭）